

日本農業新聞 北海道版・特設ウェブページ連携企画

～日本酪農を応援しよう！～



**第16回全日本ホルスタイン共進会
北海道大会開催 企画**

9月30日付予定

ご協賛のお願い

日本農業新聞 北海道支所

【お問い合わせ】 電話：011(231)3668
メール：yoshida.hiroshi@agrinews.co.jp

ホルスタイン全共を盛り上げ、 日本酪農を応援しよう！

2025年10月25・26日、北海道胆振管内安平町で全日本ホルスタイン共進会が10年ぶりに開かれます。「乳牛の美人コンテスト」や「乳牛のオリンピック」と呼ばれる同共進会には都道府県を代表する乳牛が会場に集結します。

一方、北海道農業における酪農の重要性は極めて高く、道内酪農の維持は北海道農業の生産基盤の確立に直結します。

そこで、関係団体・企業の皆さまにご支援をいただき、出品者はもちろんのこと北海道をはじめ日本の酪農家を応援する広告企画を立案いたしました。弊紙北海道版と日本農業新聞公式ウェブサイト内特設ページを連携させることで、より多くの酪農家やJAなどの関係者に効率よくリーチさせます。

趣旨ご賢察の上、広告のご出稿をいただき本企画へのご協賛を賜りたくお願い申し上げます。

注目「ホル全共」

北海道で、春の乳牛共進会「1」が開始。今年は10年ぶりの開催となる「乳牛の美人コンテスト」共進会（ホル全共）が10月25・26日に開催される。前回は2015年に開催された。

北見 木村さん最優秀

ニッポンホルスタイン共進会（ホル全共）の最優秀賞を受賞した北見市在住の木村さん（40歳）が、最優秀賞を受賞した。木村さんは、北海道酪農振興会（道酪振）の職員として、酪農家のサポートに当たっている。木村さんは、北海道酪農振興会（道酪振）の職員として、酪農家のサポートに当たっている。



「ホル全共」は、北海道酪農振興会（道酪振）が主催する、北海道産の乳牛を対象としたコンテスト。今年で10年ぶりの開催となる。コンテストは、乳牛の健康、生産性、外観などを審査する。最優秀賞を受賞した木村さんは、北海道酪農振興会（道酪振）の職員として、酪農家のサポートに当たっている。

生乳受託3年連続減

24年度、指定団体 離農加速が影響

中央酪農会議（中酪）によると、全国の指定生乳生産者団体（指定団体）の2024年度生乳受託量は、前年度比30.4%減の682万8833トンだった。減少は3年連続。24年度は夏の暑さによる乳量の大幅減は免れたものの、都府県を中心に飼料高騰などによる酪農家の離農加速の影響が表れている。

全国の受託量の割合が、都府県は同1.5%減の287万2361トン、高止まりする飼料費などで酪農家の経営は厳しさを増している。

地域	受託乳量(t)	前年度比増減(%)
北海道	3,955,974	▲1.0
東北	451,662	▲2.0
関東	1,014,982	▲0.4
北陸	63,911	▲3.5
東海	285,229	▲2.8
近畿	136,397	▲1.6
中国	285,476	▲0.05
四国	99,350	▲3.3
九州	535,354	▲2.4
都府県	2,872,361	▲1.5
合計	6,828,336	▲0.04

※はマイナス、小数点以下を四捨五入しているため、合計値が一致しないことがある
(出所：中央酪農会議)

ホル全共へ準備着々

群馬県 出品牛申し込み確認

「ぐんま」第16回全日本ホルスタイン共進会（ホル全共）の準備、関係者一丸となって出品牛の申し込みを確認している。出品部会委員が巡回指導などを通じ候補牛を30頭程度に絞り、9月26日の予選会で出品牛を決める。同日の部会では、申し込み状況や衛生対策を開催、同県から出品できる割当頭数は12頭とされている。

（つちい頭は高校枠）
と、15の個人・団体から計293頭の出品候補牛の申し込みがあった。出品部会委員が巡回指導などを通じ候補牛を30頭程度に絞り、9月26日の予選会で出品牛を決める。同日の部会では、申し込み状況や衛生対策を開催、同県から出品できる割当頭数は12頭とされている。

に出荷する酪農家戸数は、前年同月比5.9%減の97万11戸。昨10月に1万戸を割り、月に50戸のペースで離農が加速。酪農経営の大規模化が進むも、全体の生産量への影響をカバーできていない状況だ。

全国的に、搾乳の主力となる25歳の若齢牛の頭数が減少している。7月、8月は月時の生乳生産量は前年度比0.8%減の728万8000トンと予測。消費量は生乳の生産量は、前年同水準の445万8000トンと見込む。脱脂粉乳の需給緩和傾向も続く。

紙面イメージ（北海道版）

9月30日付予定

スケジュール				北海道で10年ぶり開催 全日本ホルスタイン共進会	会場案内図
					
広告2段1／2	2段1／2	2段1／2	2段1／2		
広告5段1／2	5段1／2	全5段			

<紙面内容（案）>

- ・ イベント主催者代表からのメッセージ
- ・ 共進会に向けた産地の取り組み
酪農家、学生など
- ・ 会場の案内図
- ・ イベントスケジュール
- ・ 見どころ

ほか

※ご協賛数によって、特集のサイズは変更になります。



北海道の「A・生産者」に
広く深く周知



で相乗効果を！

特設ページについて

特設サイト トップページ

9/30付北海道版特集紙面内容に加えて、
イベント開催まで出品者、産地の動きを
紹介します
共進会の最終結果もページ内で報告予定

特設サイト 記事体広告 中面イメージ

特設サイト 記事体広告 (共通デザイン)

- ・掲載期間
→ 1カ月間
 - ・特設サイトTOPページ誘導枠バナー
→ サイズは共通、要サムネイル画像
 - ・大見出し+小見出し
 - ・中面文字数
→ 400字程度
 - ・動画1点 or 画像2点
- 【動画の場合】
- ・YouTubeの動画リンク埋め込み
- 【画像の場合】
- ・JPEG、PNG形式2点
1400×800pixel以内（1点当たり）
+ TOPページサムネイル画像
- ・お問い合わせ先
→ 「団体・社名、住所、TEL、URL」
表記します。

●酪農を応援するお取り組みや
製品の紹介（実体験レポート含む）を発信してください

ダミー見本!

ダミー見本!

PC画面イメージ



特設サイト
トップページイメージ



個別ページイメージ

広告枠と掲載料金

日本農業新聞本紙
(北海道版)

掲載日	2025年9月30日(火)予定 北海道版掲載 21,322部 ※2024年10月初号部数		
広告枠	広告サイズ	掲載料金(税別)	原稿サイズ
	①全5段	400,000円	左右378 ^{ミリ} ×天地168 ^{ミリ}
	②5段1/2	200,000円	左右188 ^{ミリ} ×天地168 ^{ミリ}
	③2段1/2	100,000円	左右188 ^{ミリ} ×天地 66 ^{ミリ}

☒ 弊社で広告原稿を制作する場合には、別途制作費がかかります
☒ 左記広告枠について、場所指定をされる場合、指定料がかかります。
☒ 左記広告枠以外のスペースなどは別途ご相談ください

▼ ☆オプションとして、特設ウェブサイト内に「ウェブ広告」枠を設置！全国にも発信できます

本企画特設
ウェブサイト

掲載日	2025年9月30日(火)～10月29日(水)予定 【ウェブ広告】 ※3者以上のご協賛で実施します		
広告枠		オプション料金(税別)	必要な素材
	紙面とセット	100,000円	・メッセージ・商品紹介等 テキスト400字程度 ・お問い合わせ先(電話番号など) ・サムネイル画像1点 ・サムネイル用 見出し(10字) ・社名、商品名、貴社URL ・動画(YouTube埋め込みリンク1点) もしくは、画像データ2点のどちらか

【申込締切】

2025年8月22日(金)

【原稿・素材締切】

2025年9月5日(金)

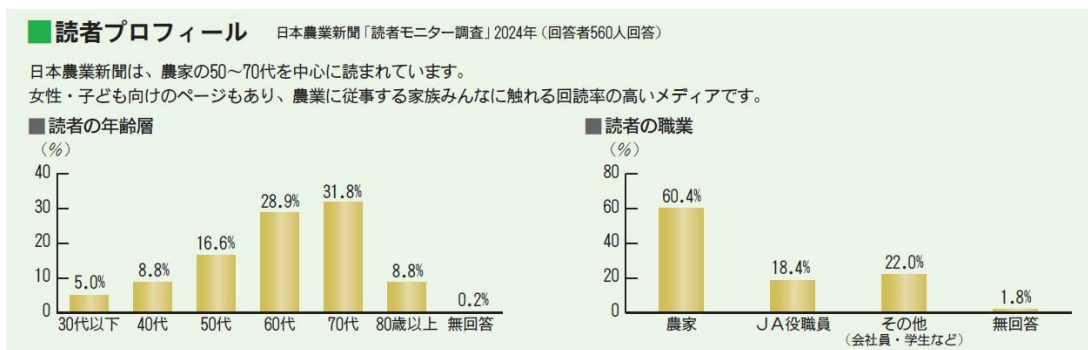
※情勢の変化や紙面調整のため、事前に告知することなく仕様を変更する場合がございます。予めご了承ください。

日本農業新聞とは



北海道版
21,322部

※2024年10月初号部数



業界唯一の日刊農業専門紙

- ◆農業専門紙の中で唯一日本新聞協会に加盟
- ◆農水省を始め、農業に携わる人々に最も読まれている新聞
→最前線へのダイレクトな訴求力
- ◆農家・JA役職員への圧倒的な訴求力
- ◆読者の6割が農家、JA役職員はもちろん、行政の担当者、食品・市場・流通関係者なども購読
- ◆JAグループの新聞として全国約500のJA組織への波及効果
→1,042万人の組合員からの支持

日本農業新聞公式ウェブサイト

▼ビュー数（月間平均）

1,226,721 views

▼ユニークユーザー数（月間平均）

396,972 users

▼平均滞在時間

02:02

▼直帰率

53.5 %

※2024/12/1-2025/2/28 Google Analyticsによる統計

閲覧メディアの比率

PC

39.4%



スマートフォン
タブレット・スマート
TVなど

60.6%



メールマガジン登録会員数

37,000人

